

期待される、新春の増産

終戦後初の最高出炭を示す

常磐炭田の十二月の出炭は東北東部併せて二十四万三千四百九十八トンを示し、目標二十万五千五百トンに對し百九パーセントの二万一千九百九十八トンの出超又第三四半期の成績は中央目標六十五萬九千九百九十九トンに對して三萬三千四百三十三トンの出超の六十九万二千四百三十三トンを誇つた、この十二月中の出炭成績は終戦後の最高出炭率で、一昨年四月の出炭線を上廻るところにまで回復してをり、本年の増産に大きな期待がかけられてゐる

石炭救國青年運動

日礦青年部新春早々立つ

日礦常連青年部では石炭増産はわれらの手でと、例年一月から四月にかけて労働者の稼働率がいちじるしく低下するので、今春はかゝることのないやうにこの期間中に特に石炭救國青年運動と名づけ、組合員の盛りあがる意欲の向上に努め、産業の再建に協力することとし、これが推進母体となるため、十五日各単位組合一名宛の實行委員を召集、具体案を練ると共に、昨年十月から十二月までの増産運動に實績のあつた青年を表彰することになり九日選考委員会を開く、向今月から機關誌「建設」をも發刊連絡機關とし、且つ増産を側面から援護することに決つた

新造船にいざこむ

誇りの江名小名濱兩造船所

水産福島の神舞漁業江名、小名濱兩造船所では正月も無休で全増産戦士一丸となり新造船に造りにどんでんが、新春早々江名造船所では興洋丸(九十トンはじめ九隻を、小名濱造船所では天神丸(九十五トンはじめ八隻を)進水、漁業増産に拍車をかけることになつた

古河労組の要求解決

能率賃を基礎に

古河好間鑛務組では舊職來責任出炭と能率賃を基礎として、要求を提出中だつたが、この程左の如く解決をみた

坑内五十圓、坑外三十五圓は工敷に依らず一日一人當り賃金の平均とする、職員の手當は二萬一千噸出炭の場合一噸に對して五圓、家族手当六圓十圓、労働者に能率賃を實施の備しを開くが、江名濱では大

味噌は増配

春早々嬉しい消息

特製の調味料の増配は醤油は依然一人二合の割であるが味噌は新早々から一人當り百三十匁に増される事になつた

江名は無休

頭張つた新正の濱

磐城各濱では新正に一日休んだのみで取崩、江名濱の如きは無休の新早々樹立住宅營團に初月かけ端坐の膝にあたり、初明りして微塵なき調度かな、初雀きのよのこき菜鳥に、いわき民報社新築をこぼして、門松や木の香もしるき新社屋

住宅復興に妙手

更に市營アパートをも建設

平市の復興建築は昨年中既に新と更に更に着工中の鎌田の市營増築申請三百六十七戸の内三百二十二戸、八割七分といふ完成率で物凄く復興振りを示して居るが、市復興課の妙案として、同居世帯にせめて住居位狭い戸も新しい我家とさせることになつた

歳日雜記

渡邊何鳴

はるかなることくに去年をかへるかに、常の世なら去去年今かにかくに常の世なら去去年今かにかくに常の世なら去去年今

映畫紹介

大映作品

二死満塁

7日から 聚樂館

原作は陶山密、田口哲の監督で秋野榮久、百瀬四郎の共同カメラ、職業野球選手的生活の陰にひそむ友情と美しいスエアプレイ精神を織込んだスポーツ映畫大映が新人スター及川千代賣出しの計劃でコロンビアの渡邊はま子や中部日本チームも特別出演してゐる

【キャスト】
山田 二郎 夏川大二郎
原 保二 宇佐美 淳
太陽監督 藤村 伊東 光一
妹 小百合 及川 千代
橋田 マチ子 渡邊はま子
大倉商事社長 吉川 英蘭

【梗概】
太陽野球團に憧れる原、山田は無二の親友であつた。監督藤村の妹小百合は山田に好意を持つてゐた。原も小百合を愛してゐた。ところが山田一家

映畫紹介

日映作品

うぐひす侍

7日から世界館

山手樹一郎の原作、丸根賛太郎の脚色監督、石本秀雄のカメラ

【キャスト】
由解 新八郎 片岡千恵藏
野呂 半兵衛 澤村國太郎
虎山 圭輔 市川小太夫
鳴野 武之助 原 健策
若 鶴可内 田村 邦男
若 鶴可内 田村 邦男
若 鶴可内 田村 邦男
若 鶴可内 田村 邦男

【梗概】
青葉藩お茶所用人由解新八郎は加津子と二人の貧乏ぐらしを毎日内職でうぐひす捕りをしてゐる中百姓の窮状を知り同僚に借金を申込んだが、同僚は面白半分にお茶所お茶所の娘鶴江に戀文を愛とらせをり五兩都合すると困つた新八郎は知り合ひの浪人野呂半兵衛から百姓を救ふのは家老の悪政を正す外なしとそゝのかされる。うぐひすを捕りに鶴江に近づいて家老に目通りをし逆次に次席家老虎山主膳の悪を知り、主膳に近づいて主膳の妹で愛おむ原の方が若君を殺しお茶所横領を企てゐる確證をつかむ。かくて新八郎は見事悪人ばらばら掃、百姓をも救ひ鶴江の心を得て共に好きなうぐひすを捕るのであつた。

謹賀新年

小井戸木工所 湯本町(電二三番)

湯本町 戦災者親和會 湯本町表町(電五九)

湯本 活版所 小島 安左衛門

双葉パレン工業株式會社 社長 佐川 千代松 本社 東京都板橋区西落合三丁目四九四 出身地 石城郡 磐崎 宇西郷

湯本地区木炭組合

組合長 平子 玉雄

喪中に付年始の禮を遠慮させて、いたゞきます

吉 田 恭 平 湯本町表町(電五九)

湯本温泉旅館組合

佐乃松本屋 柏山館 常昭館 備越館 新大吹古緑 伊勢屋

愛生堂藥局 白石藥店 岩瀨屋藥店 峯藥店 湯本高等女學校 湯本國民學校 各種鋸製造販賣 中屋 幸郎

常磐製粉工業株式會社 常磐電機工業株式會社 矢吹製材木工所

鹿島組常磐出張所 所長 岡田 徳藏

福島縣石城郡湯本町湯本 土木建築請負 株式會社 鹿島組常磐出張所

湯本町表町 電話二五番